

各位

2021.3.8

【速報】

錯体ナノコロイド水溶液を含ませた布においても、
新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対して2時間作用後に
99.9%以上の減少効果があることが3月5日に確認されました。

一般社団法人日本錯体ナノコロイド協会（東京都港区）は、
当協会が独自開発した抗菌・抗ウイルス液『錯体ナノコロイド水溶液』が、昨年11月に行った一般財団法人日本繊維製品品質技術センターによる試験および本年1月に行った北里大学医療衛生学部での混和試験に続き、本年3月に実施した一般財団法人日本繊維製品品質技術センターによる「繊維製品の抗ウイルス性試験」においても新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対して抗ウイルス効果がある旨の試験結果を得ましたのでお知らせします。

試験概要

- | | |
|-----------|--|
| （1）試験機関 | 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター |
| （2）試験ウイルス | Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2（SARS-CoV-2） |
| （3）試験方法 | JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験」準用
・試験に用いた宿主細胞は VeroE6/TMPRSS2 JCRB1819を使用。
・宿主細胞にウイルスを感染させ、遠心分離の後、希釈調整したものを試験ウイルス懸濁液とした。（ 1.7×10^7 PFU/ml に調整）
・試験素材0.4gに対し、試験ウイルス懸濁液を0.2ml接種し、25°C環境下、2時間作用後にプラーク測定法にてウイルス感染価を測定。 |
| （4）試験素材 | 錯体ナノコロイド水溶液含浸生地（綿） |
| （5）結果 | ○プラーク測定法による減少率 2時間後 99.9%以上 |